

令和元年度

事業報告書



Nara Visitors Bureau

一般財団法人 奈良県ビジターズビューロー

目 次

令和元年度事業報告

世界水準の DMO を目指して

I インバウンド向け旅行商品の販売	1
1 WEB 広告業務	
2 SEO 対策業務	
3 モデルコース造成	
4～5 ファムトリップ実施及び海外事業者との関係構築	
6 専門人材育成	
7 販売活動	
8 インバウンド旅行商品販売	
（1）オーダーメイドサイト「KANSAI NARA Treasure Travel」	
（2）BtoB 向け体験プログラム「Nara Special Experience」の販売	
（3）MICE エクスカーションの企画造成・販売	
II 魅力ある観光地域づくり促進事業	4
1 モニタリング業務	
2 地域ネットワーク構築（セミナー）	
3 体験プログラム販売	
（1）予約販売サイト「Nara Experience.com」（「奈良体験.com」）	
（2）春日大社 参拝旅行企画	
（3）国内富裕層向けオーダーメイド型旅行商品販売	
4 奈良ファン倶楽部	
5 大和路カレンダー	
6 アンテナショップ	
7 旅行商品販売受託	
（1）「うまし奈良めぐり実行委員会」事務局運営	
（2）東大寺二月堂修二会（お水取り）セミナー	
III 地域連携 DMO 推進事業	8
1 世界水準の DMO 形成促進事業【観光庁】	
2 文化財多言語解説整備事業【文化庁】	
3 JR キャンペーン連携	
4 奈良県観光キャンペーン（薬師寺等）	
5 旅行商品販売営業活動（販売活動費含む）	
6 地域素材調査	
7 奈良県観光情報サイト管理運営	
8 商品企画支援	

- 9 全国広域観光振興支援
- 10 観光インフォメーションセンター運営支援
- 11 猿沢イン旅行カウンターサービス
- 12 コンサルティング業務
 - (1) 農山漁村振興交付金（農泊推進対策）【農林水産省】
 - (2) JR 西日本キャンペーンと連携した販売促進
 - (3) 東アジア地方政府会合
 - (4) フェスティバル奈良 体験・ワークショップ事業
- 13 各種行事への協賛
- 14 着地型旅行商品造成
- 15 社寺関連企画

IV コンベンション誘致・開催支援事業…………… 12

- 1 コンベンション開催誘致支援
- 2 国際コンベンション運営事業
- 3 コンベンション関連団体連携
- (IV 関連資料)

財務諸表（収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録）………… 14

監査報告書…………… 25

役員名簿…………… 26

令和元年度事業報告

世界水準のDMOを目指して

I インバウンド向け旅行商品の販売

1 WEB 広告業務

予算額 7,000 千円

決算額 2,851 千円

(国費充当分のみ掲載。その他は地域素材調査費を充当し、執行額：委託費 7,128 千円。)

オーダーメイドサイト及び予約サイトの検索順位を上昇させ、WEB サイトの認知度を高め、外国人観光客に対する情報環境の整備を行いました。

◆オーダーメイドサイト「KANSAI NARA Treasure Travel」(英語)

年間ページビュー：247,128 P V

◆Nara Experience.com (英語)

年間ページビュー：42,159 P V

2 SEO 対策業務

予算額 6,000 千円

決算額 2,442 千円

(国費充当分のみ掲載。その他は地域素材調査費を充当し、執行額：委託費 6,105 千円。)

オーダーメイドサイト及び予約サイトの検索順位を上昇させるために、SEO 対策を実施しました。

3 モデルコース造成

予算額 3,000 千円

決算額 1,524 千円

(国費充当分のみ掲載。その他は旅行商品販売営業活動を充当し、執行額：委託費 3,048 千円。)

外国人旅行者の興味関心(7つのパッション)分野に特化した関西周遊旅行のモデルコースを造成しました。

4～5 ファムトリップ実施及び海外事業者との関係構築

予算額 11,000 千円

決算額 4,500 千円

(国費充当分のみ掲載。その他は JR キャンペーン連携を充当し、委託費 9,000 千円。)

イギリスやフランス、オーストラリアにてファムトリップ参加への呼びかけを行いました。欧米豪を中心とした海外事業者との関係構築に成功し、奈良県への誘客に繋げることができました。

- ・イギリスで関係構築した事業者数：14社
- ・フランスで関係構築した事業者数：24社
- ・オーストラリアで関係構築した事業者数：11社

・関係構築した事業者からの見積依頼：22件

◎成約件数：9件

※新型コロナウイルスの影響により、うち4件がキャンセルとなりました。

また、ファムトリップ参加への呼びかけにおいて関係を築いた海外事業者や、当ビューローが密な連携を図る先進事業者から紹介を受けたキーパーソン等を招いたファムトリップを実施しました。ファムトリップでは、実際モデルコースとして販売している紀伊半島をめぐる旅程を案内し、モデルコースが商品として価値のあるものになっているかの検証を行うとともに、改善点を洗い出すことで商品としてのブラッシュアップを図りました。また、奈良県南部のコンテンツを実際に体験して頂き、外国人から見たコンテンツの魅力と今後の課題を抽出しました。

・ファムトリップ実施回数 2回

・ファムトリップ参加者数 4名

※新型コロナウイルス感染拡大防止のためファムトリップ1回を取りやめました。(参加予定者6名)

6 専門人材育成

予算額 5,000千円

決算額 2,000千円

(国費充当分のみ掲載。その他は旅行商品販売営業活動を充当し、執行額：委託費4,000千円。)

海外富裕層の接客経験のある事業者や、先進DMOの方を講師に招き、合計6回の人材育成研修を実施しました。

・1月23日 北海道宝島旅行社による新入職員教育

・1月23日 北海道宝島旅行社によるコンシェルジュ研修

・1月25日～27日、1月29日～30日 十津川村体験プログラム研修

・2月21日 仁和寺 コンシェルジュ研修

・3月12日 セントレジスホテル バトラー研修

・3月18日～19日 先進DMO研修(一般社団法人 そらの郷)

7 販売活動

Ⅲ－5 旅行商品販売営業活動(販売活動費含む)に再掲

8 インバウンド旅行商品販売

予算額 25,800千円

決算額 15,870千円

訪日外国人に向けて、オーダーメイド型旅行商品や体験プログラムの販売を行いました。

(1) オーダーメイドサイト「KANSAI NARA Treasure Travel」

オーダーメイドサイトより流入する外国人顧客の旅行ニーズに関する相談に対応し、オーダーメイド型旅行の提案・販売を行いました。

海外商談会、国内主要旅行会社の海外部署及びランドオペレーターへの販売活動で、効果的なインバウンド旅行商品の販売に努めました。

◆問合せ対応件数：244件(アジア166件、北米/ヨーロッパ28件、その他50件)

(2) BtoB 向け体験プログラム「Nara Special Experience」の販売

訪日外国人旅行客向けに開発した奈良の特色を活かした魅力ある体験プログラムを販売しました。

◆取扱実績：1, 695名

(3) MICE エクスカーションの企画造成・販売

MICE 事業と連携し、奈良へ滞在される方々へエクスカーションの企画、提案、販売を行いました。

◆取扱件数：8件

Ⅱ 魅力ある観光地域づくり促進事業

1 モニタリング業務

予算額 8,000 千円

決算額 3,259 千円

(国費充当分のみ掲載。その他は奈良県観光キャンペーンを充当し、執行額：委託費 8,147 千円。)

奈良県内及び近隣地域の主要駅及び観光案内所等、訪日外国人が多数立ち寄る拠点を中心として、外国人の動向調査（モニタリング）を実施しました。

奈良市内や十津川村等において、今回訪日した目的や、実際に訪れた観光スポット、体験プログラム、食事等をリサーチし定性情報を得るだけでなく、その要望に応じて現地へ案内することにより、参加した各外国人の反応・評価等を詳しく検証し、訪日外国人が実際に求めているコト消費に関するマーケティング分析を行いました。

◆モニターツアー参加者数：93名

2 地域ネットワーク構築（セミナー）

予算額 4,500 千円

決算額 2,249 千円

(国費充当分のみ掲載。その他は奈良県観光キャンペーンを充当し、執行額：委託費 4,609 千円。)

関西圏の市町村、DMO、地域事業者を集めたセミナーを実施、地域においての課題点などを共有し、意見交換も行い、地域ネットワークを構築しました。

1 2月 十津川村 参加団体数 31 団体

2 月 橿原市 参加団体数 43 団体

3 体験プログラム販売

予算額 12,600 千円

決算額 11,021 千円

(1) 予約販売サイト「Nara Experience.com」(「奈良体験.com」)

旅行者が奈良の旅行商品・体験プログラムを、直接かつ容易に予約できる予約サイトの構築に努めました。自然流入のリクエスト対応に加え国内外の旅行会社への PR セールスを行いました。

(2) 春日大社 参拝旅行企画

「春日大社 参拝旅行企画」の旅行会社への販売促進や手配・精算業務を請け負い、販売代金の5%を手数料として徴収しました。

設定期間：平成31年4月～令和2年3月

取扱実績：6,055名

(3) 国内富裕層向けオーダーメイド型旅行商品販売

季節に合わせた奈良の魅力を深く伝えるツアーを販売致しました。

販売件数：3件

【実施ツアー内容】

- ・薪御能・平城京の至宝を訪ねる小旅行
- ・春日大社若宮おん祭および舞楽鑑賞小旅行
- ・シルクロードゆかりの火と水の祭典 東大寺お水取りの行事参拝の旅

4 奈良ファン倶楽部

予算額 8,000 千円

決算額 7,199 千円

奈良のことを深く知りたい方のニーズに対応した「奈良ファン倶楽部」を運営し、会員向けの情報発信を行うとともに、テーマ性・ストーリー性のある会員向けの特別講座等を企画・実施しました。これらの企画の一部は体験予約サイトでも販売し、潜在的な奈良ファンの発掘とリピーター化推進に取り組みました。

- ◆令和元年度会員数：1,460 名（うち新規：246 名）
- ◆解説付き特別拝観：11 回（参加者数：314 名）
- ◆薬師寺東塔落慶記念「奈良楽講座」：4 回（参加者数：595 名）
- ◆解説付き歴史ウォーク：3 回（参加者数：25 名）

5 大和路カレンダー

予算額 10,000 千円

決算額 8,141 千円

県内の魅力溢れる仏像を、高精細な画質で紹介する「奈良大和路カレンダー2020 大和のみほとけ うるはし」を制作し、首都圏や中京圏の書店でも販売を行い、観光 PR に活用しました。

制作部数：8,000 部

販 売 先：紀伊國屋書店、東京国立博物館ミュージアムショップ、啓林堂、奈良国立博物館ミュージアムショップ等合計 34 店舗及び個人への販売
(平成 8 年度から制作・販売し、令和元年度は 24 作目)

6 アンテナショップ

予算額 64,500 千円

決算額 49,935 千円

県が外国人向けの宿泊施設として運営する「奈良県外国人観光客交流館（奈良県猿沢イン）」において、県中南和をはじめとする県内全域の地場産品等を販売するアンテナショップ兼コンビニエンスストアを運営しました。単なる店舗運営ではなく、インバウンド旅行商品を扱う外国人目線での取扱商品の開拓、関連する旅行商品の提供を行い、それらの産地である県内全域への周遊促進に努めました。

さらに、事業者とのネットワークを活かして観光誘客キャンペーンや M I C E 会場での地場産品の販売にも取り組み、地産地消を推進しました。

また、同店舗は、外国人向け宿泊施設での食事提供機能、災害時外国人観光客の避難施設における物資提供機能も果たしています。

店 舗 名：ニューヤマザキデイリーストア奈良猿沢 D e e r 店

場 所：奈良市池之町 1 番地 奈良県猿沢イン内

開 始 日：平成 3 0 年 8 月 1 日～

取扱商品例：三輪素麺、イコラムネ、地酒、奈良コーラ 等
(外国人客には地酒、奈良コーラが人気)

7 旅行商品販売受託

予算額 500 千円

決算額 1 千円

(1) 「うまし奈良めぐり実行委員会」事務局運営

奈良県でのオフ期の宿泊滞在を促進するため、夏季(うまし夏めぐり)と冬季(うまし冬めぐり)の2季を中心に観光キャンペーンを展開しました。当ビューローは「うまし奈良めぐり実行委員会」事務局を運営し、商品の企画・広報・販売・オペレーション・精算業務を行いました。

◆令和元年度販売目標：9,800名

◆令和元年度取扱実績：8,851名

①うまし夏めぐり 3,844名

設定期間：令和元年6月～9月及び4,5月での特別設定

取扱旅行会社：パーソナル(個人型商品)7社(※うちWeb系2社)

エスコート(添乗員付き商品)12社、直販(Web・電話)800名

②うまし冬めぐり 5,007名

設定期間：令和元年12月～令和2年3月及び10,11月での特別設定

取扱旅行会社：パーソナル(個人型商品)10社(※うちWeb系3社)

エスコート(添乗員付き商品)20社、直販(Web・電話)557名

(首都圏プロモーション)

開催日：平成31年4月22日(月)

場所：品川インターシティ 会議室

概要：奈良うまし冬めぐり企画説明会を実施

(九州プロモーション)

開催日：平成31年4月24日(水)

場所：JR博多シティ会議室

概要：奈良うまし冬めぐり企画説明会を実施

③令和2年度 奈良うまし夏めぐりに向けた取り組み

設定期間：令和2年6月～9月

改善事項：ターゲットをイメージした商品分類と体験型や食事付きプログラムの充実

プロモーションの状況：県が実施するプロモーションと連携し、今後も営業活動を継続します。

(首都圏プロモーション)

開催日：令和元年10月18日(金)

場所：TKP 品川カンファレンスセンター

概要：奈良うまし夏めぐり企画説明会を実施

(九州プロモーション)

開催日：令和元年10月29日(火)

場 所：ＪＲ博多シティ会議室
概 要：奈良うまし夏めぐり企画説明会を実施

（２）東大寺二月堂修二会（お水取り）セミナー

奈良を代表する伝統行事の意義・歴史・行法を正しく伝えるセミナーを開催し、旅行会社及び地元宿泊施設の宿泊プラン等により販売しました。また、当ビューローが「東大寺二月堂修二会（お水取り）セミナー実行委員会」の事務局を運営し、商品の企画・販売・オペレーション・精算業務を行いました。

◆令和元年度集客目標：６５０名（３日間）

期 間：令和２年３月６日（金）～３月８日（日）の３日間

会 場：東大寺総合文化センター 金鐘ホール

講 師：京都府立大学 文学部 歴史学科 教授 横内 裕人 氏（３/６）

帝塚山大学 客員教授・半蔵門ミュージアム館長 西山 厚 氏（３/７,８）

取扱実績：※新型コロナウイルス感染拡大防止のため全日程開催中止

Ⅲ 地域連携DMO促進事業

1 世界水準のDMO形成促進事業【観光庁】

予算額 0千円

決算額 18,564千円（※緊急性があったため）

インバウンド誘客事業についての知見を有する外部専門人材を登用し、外国人旅行者に選好される体験プログラムの造成、誘客戦略の策定、プロモーション映像の作成等を行いました。

2 文化財多言語解説整備事業【文化庁】

予算額 0千円

決算額 226,629千円（※緊急性があったため）

訪日外国人旅行者の地域での滞在満足度の向上を目的として、県内15の社寺において多言語HP制作、多言語解説看板及びデジタルサイネージの設置などの多言語解説整備を実施しました。

【多言語解説整備実施社寺】

興福寺、薬師寺、唐招提寺、西大寺、法隆寺、中宮寺、法起寺、長谷寺、室生寺、大安寺、法輪寺、聖林寺、法華寺、海龍王寺、金峯山寺

3 JRキャンペーン連携

予算額 12,000千円

決算額 12,376千円

JR東海キャンペーンと連動した販売促進

首都圏からのより効果的な誘客促進を図るため、首都圏でのPR効果の高いJR東海の「うましうわし奈良」キャンペーンと連動した形で、関連する県内主要社寺を中心に、奈良の持つ魅力ある歴史・文化等のストーリーをしっかりと発信する周遊型の観光ガイドブックの制作・配布を行い、ガイドブックでは、このキャンペーンにあわせた旅行商品の販売促進強化に努めました。

【観光ガイドブック】

媒体名：なら温故知新

発行部数：135,000部

配置先：首都圏・関西圏を中心に約700箇所

関西広域のファムトリップや、海外事業者との関係構築を行いました（I-4、I-5再掲）

4 奈良県観光キャンペーン（薬師寺等）

予算額 10,000千円

決算額 10,246千円

薬師寺東塔の落慶を迎えるにあたり薬師寺および、奈良県との連携を強化し、県が主体として実施する「奈良県観光キャンペーン」と連携した県内主要社寺及び各地域の魅力ある観光資源のPR等を展開するとともに、より販売効果の高い着地型旅行商品の造成に努めました。

また、薬師寺寺務所にスタッフを在籍させ、僧侶、寺職員と共に落慶に向けての広報活動補助や催事運営補助を行い、薬師寺東塔落慶に向け、広く薬師寺や東塔落慶法要開催の告知をするべく、奈良ファン倶楽部の奈良楽講座を活用し薬師寺東塔特集として東塔に関連した企画内容で実施しました。

(参加者総数 595 名)

- ◆薬師寺東塔落慶 1 年前『覆屋の中の薬師寺東塔』講座 & 東塔見学 (4 月 12 日)
- ◆奈良楽講座『奈良の寺々とフェノロサ』 (6 月 5 日)
- ◆奈良楽講座 東京特別講座『薬師寺東塔を掘る』 (12 月 9 日)
- ◆奈良楽講座『薬師寺復興について』 (2 月 7 日)

魅力ある観光地づくりを促進するための事業を行いました。(Ⅱ－1、Ⅱ－2の再掲)

5 旅行商品販売営業活動(販売活動費含む)

予算額 0 千円

決算額 9,494 千円

オーダーメイド型旅行体験プログラムの販売促進のため、国内主要旅行会社等へ販売活動を行いました。

＜主な活動＞

(Ⅰ－3、Ⅰ－6の再掲)

- ・6 月 Japan Luxury Show Case 2019 出展 商談件数 17 社
- ・8 月 首都圏国内 DMC および 5 つ星ホテルコンシェルジュ営業 商談件数 10 社
- ・10 月 Visit Japan Travel Mart 商談件数 33 社
- ・11 月 首都圏国内 DMC および 5 つ星ホテルコンシェルジュ営業 商談件数 10 社

6 地域素材調査

予算額 0 千円

決算額 7,939 千円

奈良県の観光情報発信のための整備に取り組みました。(Ⅰ－1、Ⅰ－2の再掲)

7 奈良県観光情報サイト管理運営

予算額 4,757 千円

決算額 4,776 千円

県公式サイト「あをによしなら旅ネット」を管理運営し、県内の社寺・市町村・交通事業者等から収集した観光情報を発信することで、観光客の利便性向上や情報収集満足度を高めるとともに、誘客促進に繋がりました。

- ◆奈良県内の旬な観光情報やおすすめプラン、モデルコース等の掲載
- ◆「もっと奈良を楽しむ」Web 特集において旬な地元情報の発信
- ◆体験プログラム予約サイト「奈良体験.com」への誘導
- ◆うまし奈良めぐりが実施する企画の発信
- ◆奈良ファンクラブが実施する企画の発信
- ◆年間ページビュー：11,369,161 PV

8 商品企画支援

予算額 650 千円

決算額 2,567 千円

観光資源の発掘による旅行商品の企画造成やプロモーション活動、情報収集・発信によるオフ期の奈良への誘客につなげた。

9 全国広域観光振興支援

予算額 2,200 千円

決算額 2,200 千円

公益社団法人日本観光振興協会が実施する広域連携による観光振興（観光展の開催、観光資料の作成）、人材の育成等の事業に参画しました。

◆日本観光振興協会関西支部関西観光展への参画

・横浜観光展：令和 2 年 2 月 21 日～23 日（※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

◆インバウンド向け観光ガイドマップ「ウェルカム関西」等への観光情報の提供

◆観光セミナー等への参加

10 観光インフォメーションセンター運営支援

予算額 7,526 千円

決算額 8,148 千円

東大寺や夢風ひろば内において、外国人観光客等に観光案内業務を行う「奈良県観光インフォメーションセンター」を管理運営し、奈良県猿沢インとの連携を図りながら、情報発信の強化並びに利便性の向上を図りました。

◆外国人観光客利用者数：144,647 名（東大寺：83,403 名、夢風ひろば：61,244 名）

11 猿沢イン旅行カウンターサービス

予算額 6,000 千円

決算額 631 千円

奈良県猿沢イン内に旅行カウンターを設置し、外国人観光客に対して、県内旅行の手配業務及び各種交通チケットの販売等を行うとともに、体験プログラム等の提案を行いました。

12 コンサルティング業務

予算額 300 千円

決算額 6,583 千円

奈良県ビジターズビューローがこれまでに培ったノウハウや関係事業者等とのネットワーク、国及び行政関係、各種団体、先進 DMO 関係者等との人脈、観光産業に関わる知見を最大限に活かして、インバウンド市場を意識した観光プロモーションや地域の観光資源を活用した観光ルートの開発と提案、国庫補助金等外部資金を活用したインバウンド観光客受入環境整備の事業化申請支援、地場産品の海外販売支援等、あらゆる観光産業に関する業務の企画・運営・アドバイスを行うことにより、地域観光経済の活性化に努めました。

（1）農山漁村振興交付金（農泊推進対策）【農林水産省】

十津川村インバウンド受入協議会より委託を受け、以下の 2 事業を実施しました。

また、申請書作成及び事業推進におけるアドバイスをを行いました。

◆地域資源活用ノウハウ研修業務

地域の魅力を再発見し、農業体験及びその他体験プログラムを核としたツアー商品造成・販売に繋げるための課題発見、整理を目的として事業を実施しました。

◆農業観光関連専門家招聘事業等

他地域の事例紹介を用いてツアー商品造成や販売ノウハウ向上を目的とした講習会を実施。
また、体験プログラムの磨き上げ手法についても事例を用いて紹介しました。

(2) JR西日本キャンペーンと連携した販売促進

西日本圏内の基幹交通を担うJR西日本が実施するキャンペーンと連携し、平成31年3月おおさか東線開通を効果的に活用し、連動した誘客キャンペーンの展開や顧客ニーズに合わせた沿線での社寺等特別企画商品の造成・販売、並びに西日本広域での販促PR等を展開することにより、更なる誘客促進を図りました。

◆おおさか東線の全線開業と連動したキャンペーンの実施

・「特急まほろば号」運行に伴う外国人向け観光インフォメーションカウンターの設置

新大阪―奈良間の臨時ノストッ^o特急「まほろば号」の運行（11月～12月上旬の土日祝）に併せ、JR奈良駅構内に外国人向け観光インフォメーションカウンターを設置し、奈良県の魅力をPRするとともにモニタリングを実施しました。

◆新大阪駅構内での奈良県特産品の販売と観光プロモーション

・「新大阪エキマルシェ」の実施（4/15～21）

おおさか東線開通キャンペーンと連動し、JR新大阪駅構内に奈良県特産品販売ブースを設置し、おおさか東線を活用した誘客促進PRを展開しました。

(3) 東アジア地方政府会合

◆イベント及びエキスカーションの受託

実施日：令和元年11月7日（木）～8日（金）

(4) フェスティバル奈良 体験・ワークショップ事業

◆外国人向けワークショップの企画・実施

実施日：令和2年2月8日（土）、11日（火・祝）

1.3 各種行事への協賛

予算額 1,200 千円

決算額 521 千円

奈良県内への誘客促進を図る関連団体及び各種行催事への協賛、実行委員会等への参画により側面支援を行いました。

1.4 着地型旅行商品造成

予算額 5,000 千円

決算額 0 千円

※インバウンド旅行商品販売と体験プログラム販売に吸収

1.5 社寺関連企画

予算額 1,500 千円

決算額 0 千円

※インバウンド旅行商品販売と体験プログラム販売に吸収

Ⅳ コンベンション誘致・開催支援事業

1 コンベンション開催誘致支援

予算額 10,394 千円

決算額 7,851 千円

コンベンション開催の決定権を持つ大学及び学会のキーパーソンや開催実績のある関係機関からの情報収集に行うとともに、県内での学会開催に向けたそれぞれのニーズに応じたプロモーションを展開することにより、長期宿泊滞在を伴うコンベンション誘致促進に努めました。

また、コンベンション主催者に対し、国内コンベンション開催助成金（シャトルバス助成含む）とアフターコンベンション開催助成金の活用を促すとともに、開催会場への看板支援等を行うことにより、開催動機とリピート率の向上に繋がりました。

2 国際コンベンション運営事業

予算額 9,724 千円

決算額 9,719 千円

経済効果の高い国際会議を中心とした誘致支援活動を展開するため、国際会議主催者に対し国際コンベンション開催助成金の活用を提案し、開催動機とリピート率の向上に繋がるとともに、開催会場への看板支援や参加者に提供する支援ツールの作成、コンベンションボランティア派遣等、充実したコンベンション運営サポートを実施しました。また、JNTO、JCCB 等、コンベンション関係機関への連携を図ることにより、情報収集及び人材育成に努めました。

3 コンベンション関連団体連携

予算額 1,230 千円

決算額 907 千円

アフターコンベンション等での活用にも有効である奈良県内の各種行事・団体に対し協賛することにより、コンベンション波及効果に伴う地域への還元を図り、地域との更なる連携強化に繋がりました。

IV関係資料

◆誘致支援実績（単位：件）

	総件数	うち、主要ジャンル別件数		
		国際コンベンション	医学系会議	スポーツ大会
令和元年度実績	160	29	31	32

◆件数と参加人員

	上期開催計		下期開催計		年計	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員
令和元年度実績	77	32,566	83	32,818	160	65,384
（内国際会議）	(14)	(5,701)	(15)	(3,629)	(29)	(9,330)
平成 30 年度実績	105	46,306	136	63,780	241	110,086
（内国際会議）	(21)	(16,434)	(26)	(13,988)	(47)	(30,422)
対前年度実績比	73.3%	70.3%	61.0%	51.5%	66.4%	59.4%
（内国際会議）	(67%)	(34.7%)	(57.7%)	(25.9%)	(61.7%)	(30.7%)

◆開催助成金実績

開催助成金	上期開催計		下期開催計		年計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
国際コンベンション	8	2,320,000	10	2,120,000	18	4,440,000
国内コンベンション	4	1,200,000	0	0	4	1,200,000
アフターコンベンション	14	1,232,000	3	156,000	17	1,388,000

◆看板支援実績

看板支援	上期開催計		下期開催計		年計	
	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額
立て看板	69	982,800	73	1,021,900	142	2,004,700
吊り看板	30	891,000	18	497,200	48	1,388,200

令和元年度収支計算書
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科目	R元年度 予算	R元年度 決算	増減
I. 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
国庫補助金	20,150,000	259,478,249	△ 239,328,249
観光庁(当初)	20,150,000	18,826,105	1,323,895
観光庁(追加)	0	18,556,999	△ 18,556,999
文化庁(追加)	0	222,095,145	△ 222,095,145
奈良県補助金(人件費)	94,744,000	88,307,566	6,436,434
奈良県補助金(事業費)	24,527,000	21,984,955	2,542,045
奈良県観光情報サイト管理運営	4,757,000	4,757,000	0
商品企画支援	650,000	650,000	0
コンベンション開催誘致支援	10,394,000	7,851,955	2,542,045
全国広域観光振興支援	2,200,000	2,200,000	0
観光インフォメーションセンター運営支援	6,526,000	6,526,000	0
奈良市負担金	23,954,000	23,954,000	0
国際コンベンション開催助成金	5,100,000	5,100,000	0
運営事業補助	17,624,000	17,624,000	0
コンベンション関連団体との連携	1,230,000	1,230,000	0
受益市町村等負担金	12,050,000	4,520,582	7,529,418
観光キャンペーン負担金等	36,000,000	36,000,000	0
奈良県負担金	18,000,000	18,000,000	0
市町村負担金	9,000,000	9,000,000	0
民間企業協力金	9,000,000	9,000,000	0
商工会議所補助金	556,000	556,000	0
会費収入	12,600,000	11,128,000	1,472,000
基本財産運用収入	2,601,000	3,518,114	△ 917,114
受託事業売上	8,800,000	16,342,763	△ 7,542,763
猿沢イン旅行カウンターサービス	6,000,000	636,565	5,363,435
コンサルティング事業	800,000	13,880,213	△ 13,080,213
旅行商品販売受託	2,000,000	1,825,985	174,015
事業売上	143,750,000	105,777,697	37,972,303
オーダーメイド旅行商品販売収入	32,250,000	24,744,752	7,505,248
ネット販売予約サイト旅行商品収入	14,000,000	12,915,967	1,084,033
アンテナショップ販売収入	65,500,000	50,099,083	15,400,917
コンベンション関連事業収入	3,000,000	2,095,420	904,580
奈良ファン倶楽部会費収入	10,000,000	6,565,000	3,435,000
大和路カレンダー販売収入	12,500,000	9,357,475	3,142,525
着地型旅行商品販売収入	5,000,000	0	5,000,000
社寺関連企画事業収入	1,500,000	0	1,500,000
その他	500,000	181,944	318,056
雑収入	120,000	54,816	65,184
事業活動収入合計	380,352,000	571,804,686	△ 191,452,686

令和元年度収支計算書
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科目	R元年度 予算	R元年度 決算	増減
2. 事業活動支出			
インバウンド向け旅行商品の販売	66,800,000	29,188,434	37,611,566
WEB広告業務	7,000,000	2,851,200	4,148,800
SEO対策業務	6,000,000	2,442,000	3,558,000
モデルコース造成	3,000,000	1,524,325	1,475,675
ファムトリップ実施	5,000,000	4,500,000	500,000
海外事業者との関係構築	6,000,000	0	6,000,000
専門人材育成	5,000,000	2,000,000	3,000,000
販売活動費	9,000,000	0	9,000,000
インバウンド旅行商品販売	25,800,000	15,870,909	9,929,091
魅力ある観光地域づくり促進事業	108,100,000	81,807,403	26,292,597
モニタリング業務	8,000,000	3,259,080	4,740,920
地域ネットワーク構築(セミナー)	4,500,000	2,249,500	2,250,500
体験プログラム販売	12,600,000	11,021,199	1,578,801
奈良ファン倶楽部	8,000,000	7,199,217	800,783
大和路カレンダー	10,000,000	8,141,701	1,858,299
アンテナショップ	64,500,000	49,935,347	14,564,653
旅行商品販売受託	500,000	1,359	498,641
地域連携DMO推進事業	51,133,000	310,681,147	△ 259,548,147
世界水準のDMO形成促進事業	0	18,564,699	△ 18,564,699
文化財多言語解説整備事業	0	226,629,660	△ 226,629,660
JRキャンペーン連携	12,000,000	12,376,100	△ 376,100
奈良県観光キャンペーン(薬師寺等)	10,000,000	10,246,830	△ 246,830
旅行商品販売営業活動(販売活動費含む)	0	9,494,650	△ 9,494,650
地域素材調査費	0	7,939,800	△ 7,939,800
奈良県観光情報サイト管理運営	4,757,000	4,776,164	△ 19,164
商品企画支援	650,000	2,567,847	△ 1,917,847
全国広域観光振興支援	2,200,000	2,200,540	△ 540
観光インフォメーションセンター運営支援	7,526,000	8,148,268	△ 622,268
猿沢イン旅行カウンターサービス	6,000,000	631,482	5,368,518
コンサルティング業務	300,000	6,583,467	△ 6,283,467
各種行事への協賛	1,200,000	521,640	678,360
着地型旅行商品造成	5,000,000	0	5,000,000
社寺関連企画	1,500,000	0	1,500,000

令和元年度収支計算書
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科目	R元年度 予算	R元年度 決算	増減
コンベンション誘致・開催支援事業	21,348,000	18,478,520	2,869,480
コンベンション開催誘致支援	10,394,000	7,851,955	2,542,045
国際コンベンション運営事業	9,724,000	9,719,093	4,907
コンベンション関連団体連携 管理費	1,230,000 130,240,000	907,472 124,693,640	322,528 5,546,360
人件費補助(奈良県)	94,744,000	88,307,566	6,436,434
人件費補助(奈良市)	13,000,000	12,574,931	425,069
管理費	22,496,000	23,811,143	△ 1,315,143
事業活動支出合計	377,621,000	564,849,144	△ 187,228,144
事業活動収支差額	2,731,000	6,955,542	△ 4,224,542
Ⅱ. 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入	0	0	
2. 投資活動支出	0	0	
投資活動収支差額	0	0	
Ⅲ. 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
短期借入金	0	236,000,000	
財務活動収入計	0	236,000,000	
2. 財務活動支出			
短期借入金弁済	0	50,000,000	
財務活動収支出計	0	50,000,000	
財務活動収支差額	0	186,000,000	
Ⅲ. 予備費支出	0	0	
当期収支差額	2,731,000	192,955,542	
前期繰越収支差額	15,000,000	54,852,692	
次期繰越収支差額	17,731,000	247,808,234	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、下記の科目を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

現 金
 普 通 預 金
 郵 便 貯 金
 未 収 会 費
 未 収 金
 前 払 金
 立 替 金
 貯 蔵 品
 未 払 金
 前 受 金
 前 受 会 費
 預 り 金
 仮 受 金

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	前期末残高
現金預金		
現 金	915,061	842,443
普通預金	16,673,580	65,739,052
郵便貯金	756,000	867,500
その他流動資産		
未収会費	300,000	600,000
未収金	267,105,052	75,111,715
前払金	18,560	322,583
立替金	333,928	424,207
貯蔵品	172,815	21,090
流動資産合計 <A>	286,274,996	143,928,590
未払金	35,408,627	85,395,298
前受金	13,000	367,600
前受会費	2,544,000	3,306,000
預り金	501,135	0
(賞与引当金)		1,500,000
仮受金	0	7,000
流動負債合計 	38,466,762	90,575,898
次期繰越収支差額（修正前） <A> - = <C>	247,808,234	53,352,692
流動負債項目中の賞与引当金（修正事項） <D>	0	△1,500,000
次期繰越収支差額（修正後） <C> - <D> = <E>	247,808,234	54,852,692

※ 前期末残高に誤って賞与引当金1,500千円が負債に計上されていたため、上記のとおり修正した。

貸 借 対 照 表

令和 2年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	18,344,641	67,448,995	-49,104,354
現金	915,061	842,443	72,618
普通預金	16,673,580	65,739,052	-49,065,472
郵便貯金	756,000	867,500	-111,500
未収会費	300,000	600,000	-300,000
未収金	267,105,052	75,111,715	191,993,337
前払金	18,560	322,583	-304,023
立替金	333,928	424,207	-90,279
貯蔵品	172,815	21,090	151,725
商品	3,639,501	4,522,263	-882,762
流動資産合計	289,914,497	148,450,853	141,463,644
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	100,000,000	200,000,000	-100,000,000
定期預金	118,500,000	18,500,000	100,000,000
基本財産合計	218,500,000	218,500,000	
(2) 特定資産			
(3) その他固定資産			
保証金	3,700,000	3,700,000	
その他固定資産合計	3,700,000	3,700,000	
固定資産合計	222,200,000	222,200,000	
資産の部合計	512,114,497	370,650,853	141,463,644
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	35,408,627	85,395,298	-49,986,671
前受金	13,000	367,600	-354,600
前受会費	2,544,000	3,306,000	-762,000
預り金	501,135		501,135
短期借入金	236,000,000	50,000,000	186,000,000
賞与引当金		1,500,000	-1,500,000
仮受金		7,000	-7,000
流動負債合計	274,466,762	140,575,898	133,890,864
2 固定負債			
負債の部合計	274,466,762	140,575,898	133,890,864
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	218,500,000	218,500,000	
指定正味財産合計	218,500,000	218,500,000	
(うち基本財産への充当額)	(218,500,000)	(218,500,000)	()
2 一般正味財産	19,147,735	11,574,955	7,572,780
正味財産の部合計	237,647,735	230,074,955	7,572,780
負債及び正味財産合計	512,114,497	370,650,853	141,463,644

正味財産増減計算書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	3,518,114	1,907,098	1,611,016
基本財産受取利息	3,682	1,682	2,000
基本財産受取配当金	3,514,432	1,905,416	1,609,016
受取会費	14,938,000	17,440,000	-2,502,000
正会員受取会費	11,128,000	11,818,000	-690,000
奈良ファン倶楽部会員受取会費	3,810,000	5,622,000	-1,812,000
事業収益	109,139,549	87,614,129	21,525,420
事業収益	5,956,078	533,021	5,423,057
奈良大和路カレンダー販売収益	9,357,475	11,684,490	-2,327,015
インバウンドプログラム販売収益	20,255,472	13,776,314	6,479,158
オーダーメイド旅行販売収益	4,489,280	1,245,230	3,244,050
着地型旅行商品販売収益	12,915,967	15,010,677	-2,094,710
奈良F C事業収益	2,755,000	3,001,300	-246,300
コンベンション関連事業収益	2,095,420	2,621,607	-526,187
各種印刷物販売収益	30,000	29,000	1,000
アンテナショップ販売収益	51,284,857	39,712,490	11,572,367
受取補助金等	370,376,770	177,747,029	192,629,741
受取国庫補助金	259,478,249	63,850,864	195,627,385
受取地方公共団体補助金	110,292,521	111,660,165	-1,367,644
受取民間補助金	606,000	606,000	
その他補助金		1,620,000	-1,620,000
受取民間助成金		10,000	-10,000
受取負担金	64,474,582	65,067,716	-593,134
受取負担金	59,954,000	59,994,000	-40,000
事業分担金	4,520,582	5,073,716	-553,134
事業受託収益	8,307,760	10,480,000	-2,172,240
事業受託収益	8,307,760	10,480,000	-2,172,240
雑収益	2,527,719	4,047,925	-1,520,206
受取利息	118	55	63
受託販売手数料収益	1,825,985	702,541	1,123,444
雑収益	701,616	3,345,329	-2,643,713
経常収益計	573,282,494	364,303,897	208,978,597
(2) 経常費用			
事業費	541,920,763	344,778,517	197,142,246
旅行商品原価	1,080,645	23,946,242	-22,865,597
オーダーメイド旅行商品原価	3,179,234		3,179,234
体験プログラム原価	314,413		314,413
春日大社参拝旅行企画原価	9,528,589		9,528,589
インバウンド旅行商品原価	12,658,947		12,658,947
イベント原価	2,481,923		2,481,923
仕入	37,529,580	26,603,922	10,925,658
給料手当	99,583,465	81,795,524	17,787,941
福利厚生費	14,232,653	12,221,564	2,011,089
旅費交通費	2,747,337	10,495,026	-7,747,689
通信運搬費	3,525,315	4,796,009	-1,270,694
消耗品費	298,425	1,982,651	-1,684,226
修繕費	204,702	119,016	85,686
印刷製本費	1,480,143	2,327,569	-847,426
新聞図書費	184,693	318,340	-133,647
広告宣伝費	225,920		225,920
燃料費	382,332	397,120	-14,788

正 味 財 産 増 減 計 算 書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
光熱水料費	1,820,602	240,000	1,580,602
賃借料	11,348,608	10,900,005	448,603
保険料	342,363	326,060	16,303
諸謝金	719,300	1,242,758	-523,458
租税公課	308,400	251,666	56,734
支払負担金	4,404,000	2,347,516	2,056,484
支払助成金	8,728,000	12,433,040	-3,705,040
委託費	319,873,773	145,784,728	174,089,045
会議費	41,500		41,500
支払手数料	3,213,523	2,247,936	965,587
カード手数料	41,052	59,591	-18,539
カレンダー販売手数料	523,044		523,044
雑費	695,720	2,671,624	-1,975,904
その他事業費	222,562	1,270,610	-1,048,048
管理費	23,740,143	38,576,198	-14,836,055
給料手当	4,119,043	18,117,868	-13,998,825
福利厚生費	4,984,490	9,143,369	-4,158,879
会議費	116,380	235,220	-118,840
旅費交通費	10,780	3,580	7,200
通信運搬費	329,045	523,949	-194,904
消耗品費	878,803	311,540	567,263
修繕費	58,782	441,731	-382,949
印刷製本費	159,172	191,926	-32,754
新聞図書費	7,702		7,702
燃料費	17,854		17,854
光熱水料費	372,308		372,308
賃借料	2,103,036	3,092,015	-988,979
保険料		3,450	-3,450
諸謝金	2,472,000	119,600	2,352,400
租税公課	90,740	568,095	-477,355
支払負担金	668,000	1,686,000	-1,018,000
委託費	6,438,480	3,792,840	2,645,640
支払手数料	105,964	127,168	-21,204
支払利息	525,030	12,322	512,708
雑費	282,534	205,525	77,009
経常費用計	565,660,906	383,354,715	182,306,191
評価損益等調整前当期経常増減額	7,621,588	-19,050,818	26,672,406
評価損益等計			
当期経常増減額	7,621,588	-19,050,818	26,672,406
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
特別利益	1,500,000		1,500,000
賞与引当金戻入益	1,500,000		1,500,000
経常外収益計	1,500,000		1,500,000
(2) 経常外費用			
過年度損益修正損	1,477,808		1,477,808
過年度損益修正損	1,477,808		1,477,808
経常外費用計	1,477,808		1,477,808
当期経常外増減額	22,192		22,192
税引前当期一般正味財産増減額	7,643,780	-19,050,818	26,694,598
法人税、住民税及び事業税	71,000	185,300	-114,300
当期一般正味財産増減額	7,572,780	-19,236,118	26,808,898
一般正味財産期首残高	11,574,955	30,811,073	-19,236,118
一般正味財産期末残高	19,147,735	11,574,955	7,572,780

正 味 財 産 増 減 計 算 書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	218,500,000	218,500,000	
指定正味財産期末残高	218,500,000	218,500,000	
Ⅲ 正味財産期末残高	237,647,735	230,074,955	7,572,780

財務諸表に対する注記

1.重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

購入時の取得価格。なお、取得価格と債権金額との差額については、重要性が乏しい場合は、債券金額。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法

(3) 固定資産の減価償却の方法

該当なし

(4) 引当金の計上基準

該当なし

(5) 消費税等の会計処理

税込

2.会計方針の変更

引当金を計上してなかったため、計上基準を該当なしに訂正した。

3.基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
利付国庫債券	200,000,000	0	100,000,000	100,000,000
定期預金	18,500,000	100,000,000	0	118,500,000
小 計	218,500,000	100,000,000	100,000,000	218,500,000
合 計	218,500,000	100,000,000	100,000,000	218,500,000

4.基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
利付国庫債券	100,000,000	(100,000,000)	0	0
定期預金	118,500,000	(118,500,000)	0	0
小 計	218,500,000	(218,500,000)	0	0
合 計	218,500,000	(218,500,000)	0	0

5.担保に供している資産

担保物件なし

6.保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

保証債務なし

7.満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額

利付国庫債券 第121回債(20年) 100,000,000円

8.補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金名称 (契約・事業等名称)	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
令和元年度訪日外国人旅行者周遊促進事業費補助金	観光庁	0	18,826,105	18,826,105	0	－
(WEB広告業務事業)		0	2,851,200	2,851,200	0	－
(SEO対策業務事業)		0	2,442,000	2,442,000	0	－
(モデルコース造成実施事業)		0	1,524,325	1,524,325	0	－
(ファミトリップ実施および海外事業者との関係構築事業)		0	4,500,000	4,500,000	0	－
(専門人材育成事業)		0	2,000,000	2,000,000	0	－
(モニタリング業務事業)		0	3,259,080	3,259,080	0	－
(地域ネットワーク構築事業)		0	2,249,500	2,249,500	0	－

8.補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金名称 (契約・事業等名称)	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
令和元年度観光振興事業補助金	観光庁	0	18,556,999	18,556,999	0	－
（世界水準のDMO形成促進事業）		0	18,556,999	18,556,999	0	－
令和元年度文化資源活用事業費補助金	文化庁	0	222,095,145	222,095,145	0	－
（文化財多言語解説整備事業）		0	222,095,145	222,095,145	0	－
一般財団法人奈良県デジタルビューロー人件費補助金	奈良県	0	88,307,566	88,307,566	0	－
一般財団法人奈良県デジタルビューロー事業費補助金	奈良県	0	21,984,955	21,984,955	0	
（奈良県観光情報サイト管理運営事業）		0	4,757,000	4,757,000	0	－
（商品企画支援事業）		0	650,000	650,000	0	－
（コンベンション開催誘致支援事業）		0	7,851,955	7,851,955	0	－
（全国広域観光振興支援事業）		0	2,200,000	2,200,000	0	－
（奈良県観光インフォメーションセンター運営事業）		0	6,526,000	6,526,000	0	－
奈良商工会議所補助金	奈良商工会議所	0	556,000	556,000	0	－
観光情報システム事業補助金	日本観光振興協会	0	50,000	50,000	0	－
合計		0	370,376,770	370,376,770	0	

財 産 目 録

令和 2年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		金額
(流動資産)		
	現金預金	18,344,641
	現金	915,061
	普通預金	16,673,580
	郵便貯金	756,000
	未収会費	300,000
	未収金	267,105,052
	前払金	18,560
	立替金	333,928
	貯蔵品	172,815
	商品	3,639,501
流動資産合計		289,914,497
(固定資産)		
基本財産		
	投資有価証券	100,000,000
	定期預金	118,500,000
特定資産		
その他固定資産		
	保証金	3,700,000
固定資産合計		222,200,000
資産合計		512,114,497
(流動負債)		
	未払金	35,408,627
	前受金	13,000
	前受会費	2,544,000
	預り金	501,135
	短期借入金	236,000,000
流動負債合計		274,466,762
(固定負債)		
固定負債合計		
負債合計		274,466,762
正味財産		237,647,735

監 査 報 告 書

令和元年度一般財団法人奈良県ビジターズビューローの監査をした結果について、下記のとおり報告します。

記

1. 監査方針および実施方法

令和2年3月25日付け特別監査報告書（以下、「特別監査報告書」という。）における平成30年度事業執行への指摘状況および平成30年度、令和元年度の事業執行の継続性を踏まえ、令和元年度の監査にあたっては、監事監査補助員を選任するなど同特別監査に準じる体制で監査を実施すべきであることを監事の協議により決定しました。

この方針に従い、令和2年5月11日、12日、15日、19日の4日間、3名の監事および9名の監事監査補助員が、当法人において令和元年度にかかる事業報告書及び財務諸表をはじめ重要な決裁書類・会計書類等を閲覧するとともに、事務局から状況を聴取しました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告書・収支計算書・正味財産増減計算書・貸借対照表・財産目録は、いずれも当法人の状況を正しく示されているものと認めます。
- (2) ただし、業務の執行において、平成30年度、令和元年度の事業執行の継続性から、やはり特別監査報告書における指摘と同様の指摘を行うべき事項の存在が認められますので、改めて今後、以下の点について改善されるよう付言します。
 - ①定款第29条第5項に基づく、理事会への年2回以上の業務執行状況報告が行われていないこと。
 - ②理事会の承認を経て予算措置することなく実施している事業や、理事会の承認を経て予算措置されているにもかかわらず執行額のない事業があるなど、予算に基づく執行が徹底されていないこと。
 - ③会計処理規程の基準に基づいた契約書の締結がなされていないもの、履行確認を行ったことについての確認ができないもの等、適切を欠く事務処理が散見されること。

以上

令和2年5月19日

監事

春日 英達

監事

上田 博文

監事

奥田 善之



奈良県ビジターズビューロー役員名簿

令和2年3月26日現在

役職	氏 名	組織名	役職名
理事長	荒井 正吾	奈良県	奈良県知事
副理事長	仲川 げん	奈良市	奈良市長
副理事長	小山 新造	奈良商工会議所	会頭
専務理事	中西 康博	奈良県ビジターズビューロー	専務理事
理事	橋村 公英	東大寺	執事長
理事	伊勢 久夫	春日大社	権宮司
理事	根岸 榮宏	長谷寺	寺務長
理事	五條 永教	金峯山寺	執行長
理事	乾 昌弘	株式会社明新社	代表取締役社長
理事	朝廣 佳子	株式会社読売奈良ライフ	代表取締役社長
理事	佐野 純子	奈良インターカルチャー	
理事	宮川 鎌次	西日本旅客鉄道株式会社 鉄道本部 営業本部 近畿営業部	観光推進室長
理事	小林 智彦	近畿日本鉄道株式会社 鉄道本部	企画統括部 営業企画部長
理事	植田 良壽	奈良交通株式会社	代表取締役社長
理事	古澤 秀明	東海旅客鉄道株式会社 広報部 東京広報室	室長
理事	下谷 幸司	奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合	
理事	山本 義史	奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合	
理事	近浪 弘武	日本コンベンションサービス株式会社	代表取締役社長
理事	草刈 徹	株式会社ジェイティービー 奈良支店	支店長
理事	高垣 一生	株式会社近畿日本ツーリスト関西 奈良支店	支店長
理事	亀田 忠彦	橿原市	橿原市長
理事	中井 章太	吉野町	吉野町長
監事	上田 博文	奈良県	会計管理者
監事	春日 英達	株式会社南都銀行	執行役員 ソリューション営業部長

奈良県ビジターズビューロー評議員名簿

令和2年3月26日現在

役職	氏 名	組織名	役職名
評議員	川俣 海淳	奈良大和四寺巡礼の会	代表
評議員	常盤 勝範	壺阪寺	住職
評議員	森 正光	石上神宮	宮司
評議員	田中 篤則	株式会社奈良新聞	代表取締役社長
評議員	湯木 和則	NHK奈良放送局	局長
評議員	長岡 雅美	奈良テレビ放送株式会社	代表取締役社長
評議員	森田 洋平	一般社団法人 奈良青年会議所	理事長
評議員	田中 稔之	奈良県農業協同組合	代表理事、理事長
評議員	折原 英人	奈良県	観光局長
評議員	梅森 義弘	奈良市	観光経済部長
評議員	山崎 貴浩	橿原市	魅力創造部長
評議員	宮本 憲一	吉野町	参事